

## 令和4年度 【放課後等デイサービス】 自己評価アンケートまとめ

### 職員による自己評価

専用に作られた建物のためバリアフリーになっている。児童1~2名に対し職員1名の体制で支援を展開しており、一人ひとりの児童に対対応可能な職員配置ができています。その日の子どもたちの状態や特性に合わせ、楽しく、そして個々の子どもの発達目標に合った活動を心掛けている。児童の年齢が上がってきているため、活動の幅が広がったが、多方面で男性スタッフのニーズが高まっている。非常勤職員の出勤と児童の送迎時間が重なる為、連絡掲示板等を利用して職員全員が共通認識をもって対応できるよう取り組んでいる。緊急時対応、防犯、感染症対応に関するマニュアル等が保護者に周知されてきたが、まだ十分ではない。

### 保護者による評価

ニーズに対しての男性職員が不足している。満足度について、色々な経験ができています、通所をととても楽しみにしている等、高評価をいただいているが、子どもの活動スペースが十分に確保されているか、職員の配置数や専門性は適切であるか分からないという意見があった。コロナ禍が落ち着いたら、保護者同士の連携の場を期待いただいている。防犯について心配されている方がいらっしゃる。



### 事業所内での分析

子どもたちが通所を楽しみにしている。保護者からも高評価をいただいているが、実際の活動や工夫等が保護者から見えていないため、分からないという意見もある。筋力向上やストレス解消のため、気候の良い日は戸外活動を積極的に行っている。全体の年齢が上がってきたことでできることが増え、活動が固定化されないよう様々な支援を行うことができた。公共の場所へ出向き、地域の人たちと関わりを持つ支援ができています。保護者支援として情報を希望する保護者には必要な保護者をつなぎ、感謝の言葉をいただいた。

### 事業所の強み

様々な特性を持った児童の為に作った施設なので、過ごしやすい環境である。のびのびと過ごせる広場があり、ポニーや小動物と触れ合うことができる。子どもたちがどう楽しめるかを考え、適切な支援を行うにはどうしたらよいかなどを話し合い、職員間で声掛けを行いながら協力し合うことができています。対応可能な職員配置ができていますため、状況に応じて個別対応を行うことができます。

### 事業所の改善点

緊急時、防犯、感染症対応に関するマニュアル等が保護者や非常勤職員に周知されてきたが、十分ではない。個々の緊急な事柄については迅速に対応できるが、事業所全体にかかわる緊急な事態が起きた際の手順の整備を行っていく必要がある。多機能型施設であるため、児発と放デイ、年齢に適した課題プログラムの計画が難しいときがある。

### 事業所の改善への取り組み

ホームページは定期的(新年度毎)に見直し、更新を行う。保護者の皆様へのお便り、面談などを通して、緊急時等対応マニュアルや普段の活動内容について丁寧に発信していく。緊急時対応について定められた手順に従って行く。感染対策として食事(少人数ずつ)と遊びのスペースをしっかりと分ける。子どもがより見通しをもって安定して過ごせるよう、子どもに一日の流れ(活動プログラム)を伝えて活動を行っていく。